

(公益財団法人)茨城県国際交流協会

事業名	国際理解教育促進及び茨城県留学生親善大使交流事業			
実施期間	2011年 5月～2012年 1月			
場 所	県内小中高校及び生涯学習施設、茨城県内施設など			
参加者	外国人留学生	地域住民・企業等	その他	合計
	74 名	11,147 名	名	11,221 名

<実施内容>

財団法人茨城県国際交流協会では、当協会の他、関係8団体と茨城県国際理解教育推進協議会を組織し、連携してワールドキャラバン(国際理解教育講師等派遣事業)を展開しています。県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、生涯教育機関等に留学生等の外国人講師を派遣し、参加者が様々な国の習慣や文化を知り国際理解を深める機会を提供しています。



生徒と楽しく歓談しているチョウ・マンさん

今年度は、83団体123件の派遣を行いました。このワールドキャラバンで、講師は、母国の学校の様子、生活習慣、衣食住等を、国旗や民芸・工芸品、民族衣装を使って紹介します。母国で、一般的に食する料理を紹介し、参加者とともに調理することもあります。派遣先の多くは、小学校や中学校です。子どもたちは、講師の国の情報を調べたり、話を聞いてその場で疑問に思ったことや聞いたかったことを質問します。また、母国で一般的な子供の遊びを教えてもらい、一緒に体を動かしたりもします。一方で、子どもたちからも講師へ、学校の様子や日本文化について紹介したり、相互理解を図っています。留学生にとって、日本の学校へ訪問し子どもたちの学校の様子を生で見たり、一緒に給食を食べる経験は数少ないチャンスです。日本の学校制度を知るよい機会となっています。

<参加者からのコメント>

チョウ・マンさん(中国出身)

子供達はとても元気で、積極的に私の説明内容を聞いてくれました。そして、いろいろな質問をしながら楽しく交流しました。単純でかわいくて天使のような子供達と一日を過ごせるのは本当に、本当に幸せで感動しました。日本の小学校が知識のほかに、正しい礼儀、道徳、たくましい体をちゃんと子供に身につけさせようという姿に私はとても強い感動を受けました。私達ももっと頑張らなければと思いました。

ライトナー・カトリン・ユミコさん/Leitner Katrin Jumiko(オーストリア出身)

校長先生をはじめ、先生たちもすごく親切で、オーストリアのことに興味を持ってくれて、すぐに親しんだ雰囲気でもやりやすかったです。そして、子供達もあまり人見知りすることなく、すぐに活発に交流してくれました。最後に、一緒に給食をとったときにもいろいろ質問してくれたり、いろいろなことを話したり、説明してくれたりして本当に楽しかったです。